

# 2010年度 事業報告

特定非営利活動法人 大阪府民環境会議

自 2010年4月1日至 2011年3月31日

## <目次>

. 事業の概要

. 事業の実施状況

1. 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造活動への府民の啓発を目的とした教育・  
広報に関する事業
  - 1-1 地球をクールに！「ごみ減量の現場で学ぶ」
  - 1-2 エコファミリーキャンペーン連絡協議会事務局業務
2. 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造に向けての情報の収集・発信、調査研究に  
関する事業

ホームページの整備・活用
3. 地域に根ざした持続可能な社会・循環型まちづくり及び環境教育のためのネット  
ワ-クづくり、情報基盤の整備に関する事業
  - 3-1 環境省近畿地方事務所請負事業  
平成 22 年度近畿環境パートナーシップオフィス運営管理業務
  - 3-2 大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業  
平成 22 年度堺第 7-3 区 共生の森づくり活動協働事業
  - 3-3 大阪市城東区委託事業  
「区民協働による緑のカーテン」推進支援業務
4. 環境保全活動団体への組織マネジメントや人材育成に関する  
事業

独立行政法人環境再生保全機構委託事業  
平成 22 年度近畿ブロック「環境保全に取り組む NGO・NPO 運営講座・出前講座」
5. 行政や企業への政策提言に関する事業

OPEN環境学習会
6. ネットワーク

. 総会の開催状況

. 理事会・常任理事会の開催状況

## ・事業の概要

2010年度の活動と、それに関連する国内外情勢には次のような特徴がありました。

主な活動テーマを地球温暖化防止と定め、全国および関西の仲間と連携しました。地球温暖化防止の法律を求めた全国運動 MAKE the RULE や関西の団体ですすめる「温暖化防止ネットワーク関西」において、市民から国連気候変動枠組み条約第 16 回締約国会議（COP16）へのアクションを起こしてきましたが、地球温暖化対策基本法案は国会に上程されたものの、成立の見通しは立っていません。

また、3月11日の東日本大地震により、福島第一原子力発電所は炉心溶融という重大事故を引き起こしました。放射性物質の拡散は、大気、海、地下水などと福島県内だけでなく、広範囲にわたり命と暮らしを脅かす事態となっています。原子力発電の見直し始め、エネルギー問題への取り組みは今後も重要課題と位置づけなければなりません。

OPEN は設立当初より「きんき環境館」運営業務を環境省から委託を受け、これまで近畿エリアの環境 NGO/NPO と広範なつながりをつくってきました。2010年度末には2011年度から3年間の業務請負への企画応募に参加し、引き続き業務を行うことになりました。

大阪府とは「堺第 7-3 区共生の森」での植樹や公共交通利用促進を目指す「エコファミリーキャンペーン連絡協議会」の下での協働事業をすすめています。

大阪市とは、城東区において「区民協働による緑のカーテン推進支援事業」を21年度から行っています。

自主事業として、現場で学ぶ「地球をクールに！」と大阪府の環境をよくするための提言を視野に入れた「OPEN 環境学習会」を4回実施しました。

広報に関しては、事業担当者がブログを活用することにより、Webによる情報発信を随時行いました。また、会員へのメールニュースの配信を開始するなど、即時的な情報発信に努めてきました。

## ・事業の実施状況

各事業の報告（各事業報告は次ページより）

- 1-1 地球をクールに！「ごみ減量の現場で学ぶ」
- 1-2 エコファミリーキャンペーン連絡協議会事務局業務
- 2 ホームページの整備・活用
- 3-1 環境省近畿地方事務所請負事業  
平成 22 年度近畿環境パートナーシップオフィス運営管理業務
- 3-2 大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業  
平成 22 年度堺第 7-3 区 共生の森づくり活動協働事業
- 3-3 大阪市城東区委託事業  
「区民協働による緑のカーテン」推進支援業務
- 4 独立行政法人環境再生保全機構委託事業  
平成 22 年度近畿ブロック「環境保全に取り組む NGO・NPO 運営講座・出前講座」
- 5 OPEN 環境学習会
- 6 ネットワーク

地球をクールに！「ごみ減量の現場で学ぶ」

1. 目的

- ・ごみ減量の現場で学ぶ体験型学びの創出。
- ・区民まつり（イベント）における協働型ごみ分別システムを構築し、継続化をめざす。

2. 対象

- ・見学ツアー：ごみ減量に取り組む団体メンバー
- ・区民まつりでの分別：区民まつり主催者・地域団体・地域住民

3. 成果

- ・見学ツアー：参加団体間のネットワークの強化。エコツアーの試行
- ・区民まつりでの分別：協働型イベントごみの分別システムが構築できた。今後、大阪市下への波及効果が期待できる。

4. 課題

協働型イベントごみ分別に関する情報発信。資源循環型文化づくり活動との連動。

担当者：原田・松井・西村・山口

事業概要

志布志ツアー (9月5日~8日)	参加者：9名。 志布志市役所にてごみ減量政策についての説明 ・ リサイクル施設・生ごみ堆肥化施設の見学 ・ 最終処分地の見学・ごみ分別の現場（地域）の見学
天王寺区民まつり (9月12日)	天王寺区コミュニティ協会と連携し、多くのボランティアスタッフの協力の下、表のような分別を行った。 協力団体：NPO ごみゼロネット大阪・NPO シティズンホームライフ協会・實守紙業株式会社・Rびんプロジェクト・大阪市ボランティアセンター
中央区民まつり (10月17日)	中央区コミュニティ協会と連携し、多くのボランティアスタッフの協力の下、表のような分別を行いました。また、女性会のブースでリユースびん容器入り飲料を販売し、リユース体験を実施しました。 協力団体：NPO ごみゼロネット大阪・NPO シティズンホームライフ協会・實守紙業株式会社・Rびんプロジェクト・中央区ボランティアビューロ・大阪市立東商業高等学校・中央区女性会
参考・詳細	<a href="http://blog.goo.ne.jp/tikyucool/c/5190becd193639eeb07a5ec7d3e7677b">http://blog.goo.ne.jp/tikyucool/c/5190becd193639eeb07a5ec7d3e7677b</a>

【時 期】2010年4月～2011年3月

【実施形態】東洋ゴム環境保護基金  
助成事業

【事業規模】135万円（内、助成67万円）



<中央区民祭 資源化量>

ダンボール	495kg
紙類	128kg
ペットボトル	30kg
アルミ缶・スチール缶	88kg
割り箸(木製)	24kg
竹箸・竹串	2kg
生ごみ	59.5kg

1-2 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造活動への  
府民の啓発を目的とした教育・広報に関する事業

エコファミリーキャンペーン連絡協議会事務局業務

= エコなおでかけプロジェクト「バス de おトクなキャンペーン」=

1. 目的

自動車交通から公共交通などの地球にやさしい交通へ転換するための取組みで、特に「バス」を中心としたキャンペーン

2. 対象 大阪府民、特に全小学生

3. 成果

期間中はブログを1日2回毎日更新した。アクセス件数は1ヶ月で約7800件。キャンペーン参加者アンケートでは、「このキャンペーンがなければ出かかなかった」12%、「バス以外の手段で出かけた」10%の方がおり、バスクーポン取得枚数に当てはめると約2万人近くの方が通常よりバスを利用した。

利用者からは、「子どものお出かけ手段にバスの選択肢が増えた」、「バスのイメージが楽しいものになった」などキャンペーンの継続を望んでいる。

4. 課題

経費のすべてを協賛企業および大阪バス協会からの協賛金で賄うため、協賛企業を増やす必要がある。キャンペーンに参加することによる協賛企業のメリットなどを出していくことが求められる。

担当者：山口百合子、宮本信敬

事業概要

【時期】2010年11月  
【実施形態】共催。エコファミリー連絡協議会 = 大阪府、大阪バス協会並びに加盟9社局、スルッとKANSAI、近畿運輸局、大阪府民環境会議



広報	府内全小学校、キャンペーン連携の55施設、鉄道事業者、道の駅など チラシ69万枚の配布ポスター1万4千枚、バス車内設置のお出かけバス 19万枚。HP掲載は大阪府、近畿運輸局、各バス事業者、大阪府民環 境会議。道頓堀川に電飾広告を出している企業のデジタルサイネージ、 バスまつりなどのイベントでのPR活動など。
HP, ブログ	ライターがバスに乗って取材記事と写真でキャンペーン期間中は1日 1~2回毎日発信しバスの魅力を伝えた。プレビュー数は昨年比6割 増の200件。エキモの検索は昨年比7倍増の7200件。
協賛企業	セレッソ大阪、関西サイクルスポーツセンター、バル研究所(エキモ無 料検索)
参考・詳細	<a href="http://busecofamily.blog75.fc2.com/">http://busecofamily.blog75.fc2.com/</a>

地球温暖化防止や地域の環境保全・創造に向けての情報の収集・発信、調査地球温暖化防止や地域の環境保全・創造活動への府民の啓発を目的とした教育・広報に関する事業

ホームページの整備・活用 (CMS:コンテンツマネジメントシステムの導入)

1. 目的

ホームページの更新にあたって、どんなスタッフでも更新作業が出来るように、リニューアルをおこなう。

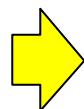
【時期】2011年1月～3月

【事業規模】60万円

2. 課題

ホームページ改訂にあたって、これまでのコンテンツを整理する必要がある。また、これまで不足していたコンテンツも追加する必要がある。特に、ビジョンや事業の方向性をまとめる必要があり、整理でき次第リニューアルをおこなう。

担当者：宮本、大塚、原田



<現在のトップページ>

<リニューアル後のイメージ>



## 近畿地方環境パートナーシップオフィス『きんき環境館』運営事業

## 1. 目的

近畿地域における環境パートナーシップに関わる意見交換の場づくり、協働の形づくり及び環境情報の受発信等の事業を実施し、持続可能な社会づくりのための各主体のパートナーシップによる取組の促進を図ることを目的とする。

## 2. 対象

国民・事業者・民間団体・行政など各主体

## 3. 成果

事業に対する自己評価（A～Eの5段階評価）で、昨年はA評価がひとつもなく、C評価が3つ、D評価が1つという状況だった。本年度はC、D評価は1つもなく、すべてA、B評価で、うちA評価は5つ。すべてスタッフのスキルによるものである。

＜対目標評価基準＞	100点満点換算
A：目標以上の達成	120点
B：目標の達成	100点
C：ほぼ達成したが改善必要	80点
D：達成できず、手法見直し必要	60点
E：取組未着手	0点

23年度事業に企画応募し、引き続き運営を行うこととなった。

## 4. 課題

2年連続、体制維持ができず、期中に理事の体制強化を図った。運営側のマネジメントに問題があり、近畿地方環境事務所及びスタッフの信頼・信用を回復させることが課題である。23年度はスタッフの人数が減り、新人の採用もある。理事も常駐を指示されており、体制的に課題の多い年度になる。

担当者：宮本、原田、木内、清水、山口

＜参考・詳細＞

<http://www.kankyokan.jp/pc/>

【時期】2010年4月～2011年3月

【実施形態】環境省近畿地方環境事務所  
委託事業

【事業規模】2305万円



## 実施事業

1. 維持管理業務
2. 環境パートナーシップ担い手充実業務
3. 意見交換の場づくり業務
4. 環境情報の受発信業務
5. 協働事業業務
6. ESD促進業務
7. 持続可能な社会づくりを担う事業型MPO・NGO社会的企業中間支援スキーム事業
8. 政策提言事業との連携・フォローアップ
9. 館内事業業務

平成22年度NGO/NPO等生物多様性交流フェア出展（近畿ブース）業務  
平成23年度地球環境基金助成金説明会開催業務

## 3-2 地域に根ざした持続可能な社会 循環型まちづくり及び環境教育のためのネットワークづくり、情報基盤の整備に関する事業

### 堺第7-3区 共生の森づくり活動協働事業

#### 1. 目的

大阪府内の産業廃棄物処分地に、市民参画で約100haの森を「創生」していく活動である。

#### 2. 対象

森 MORI ! sun デイ ! に参加の一般府民、全体会議参加企業、NPO 法人共生の森など

#### 3. 成果

- ・森 MORI ! sun デイ ! : 10 回実施 697 名参加  
(それ以外に府 : 48 名、オープンなど : 147 名)
- ・植樹 : 918 本、4800m<sup>2</sup>  
「ちぬみ山」への植樹が始まった。
- ・全体会議 : 3 回開催。

#### 4. 課題

- ・基本的には、OPEN の事業として継続していくことである (今後、公募提案から入札への移行の動きもあるため)。
- ・今後の運動を支える若手サポーターの養成・確保が重要である。
- ・全体会議を通じて、運動の輪を広げる。

担当者 : 金谷・原田

#### 事業概要

【時期】 2010年5月～2011年3月

【実施形態】大阪府環境農林部  
みどり・都市環境室委託事業

【事業規模】420万円



森 MORI ! sun デイ (5月～2月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月より最終日曜日に合計10回実施した。(3月は中止)</li> <li>・7月草刈り(総勢184名)、2月植樹祭(総勢484名)はほぼ順調に運営できた。</li> <li>・今までの「試験植栽」を終え、共生の森のシンボルである「ちぬみ山」に植栽できたこと及び「ちぬみ山」の植樹に先立ち、全体会議の下部組織「植栽計画検討部会」を立ち上げることができたのは、この事業の大きな成果である。</li> <li>・苗木づくりは軌道に乗つつあり、ここから共生の森へ植栽もされ始めた。</li> </ul>
全体会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月、11月、2月の3回開催でき、共生の森に関わる諸団体の意見交換ができるようになった。</li> <li>・チュウヒ問題が起こったが、適切な対応により野鳥の会大阪の参加の道が開けた。</li> </ul>
参考・詳細	<a href="http://blog.goo.ne.jp/kyouseinomori/">http://blog.goo.ne.jp/kyouseinomori/</a>

## 3-3 地域に根ざした持続可能な社会・循環型まちづくり及び環境教育のためのネットワークづくり、情報基盤の整備に関する事業

### 「区民協働による緑のカーテン」推進支援業務

#### 1. 目的

家庭や施設等における壁面緑化・緑のカーテンを、区民協働を形成しながら全区的に普及させ、環境改善運動の推進をはかる。

【時期】4月～2011年2月

【事業規模】241万円

#### 2. 対象

大阪市城東区民・在勤者、地域団体

#### 3. 成果

- ・参加者が栽培・採種の知識を得た。
- ・サーモグラフィーの活用で啓発効果が顕著。
- ・参加者が知人に呼びかける等、継続に向けての波及効果があった。



#### 4. 課題

21年度当初からワークショップを通じて、区民が主体的に「緑のカーテンづくり」を継続、普及することを目指している。そこで23年度の企画では城東区の事業終了後においてもOPENによる区民へのサポートを行うことを前提にサポーター育成を含んだ内容を提案することとした。

担当：原田・岡（大阪自然環境保全協会）

#### 事業概要

1. 家庭等における壁面緑化についての環境啓発・推進  
苗等の配布・啓発チラシ・ポスターの制作・配布）  
記録表の配布・展示  
緑のカーテンマップの作成・展示
2. 参加型ワークショップの企画・運営  
6回開催  
区のイベントで学習会開催
3. 事業の周知・宣伝・波及促進  
「緑のカーテンだより」の作成とWebによる配信  
緑のカーテンパンフレットの作成  
緑のカーテンパネルの作成

#### 参考・詳細

<http://blog.goo.ne.jp/jotogreen>





## 平成 22 年度近畿ブロック 環境保全に取り組む NGO・NPO 運営講座・出前講座」

## 1. 目的

環境保全活動を効果的に推進していくために、受講団体の状況を把握し、必要と思われるその道のプロの講師を選任し、講座を実施した。

## 2. 対象

近畿ブロックの環境保全に取り組む NGO・NPO

## 3. 成果

研修を実施した 6 団体中、5 団体がとても有意義だったと回答。残り 1 団体は有意義だったと回答しているので、あわせると 100% 有意義だったという結果だった。団体の悩みは多く、もっとも効果的な講座を設定する事は大変難しいが、ほとんどの団体がとても有意義だったと評価していただいたことは喜ばしい。

## 4. 課題

告知が行き届かず、申し込み団体の確定に苦労があった。

担当者：宮本、木内、原田

## 事業概要

事前講座、本講座、アフターフォローの計 3 回の講座を行った。

参加 6 団体に対して、全 19 回の講座を行った。

## ( 受講団体一覧 )

特定非営利活動法人 地球デザインスクール  
NPO 法人 シティズンホームライフ協会  
NPO 法人 環境情報ステーション Picco  
野鳥の会 大阪  
NPO 法人 五環生活  
NPO 法人 日本樹木リサイクル協会  
太平寺わしらのまちづくり委員会

< 参考・詳細 >

<http://demaekouza.seesaa.net/>

【時 期】2010 年 8 月～2011 年 3 月

【実施形態】環境再生保全機構  
地球環境基金委託業務

【事業規模】267 万円



## 講師

宮本信敬（株式会社ナイルズ・ウエスト）  
新川達郎（同志社大学大学院 総合政策課・教授）  
新居誠一郎（新居合同税理士事務所）  
秋岡安（秋岡税理士事務所）  
山田裕子（大阪 NPO センター・事務局長）  
木内功（大阪府民環境会議・理事）  
原田智代（大阪府民環境会議・理事）

## OPEN環境学習会

### 1. 目的

大阪府における環境政策の課題を確認するための内部学習会

### 2. 対象

理事・会員・一般

### 3. 成果

大阪府における「生物多様性」、「温暖化防止施策」、「公共交通利用拡大」、「環境教育推進施策」の課題について参加者で意見交換ができ、課題の抽出がなされた。

### 4. 課題

学習会の各テーマの領域の課題の整理を行い、大阪府と協議する。

担当：金谷・山口・早川・原田

### 事業概要

#### 1. 第1回「生物多様性の危機、大阪府での問題は……」

6月26日開催

大阪府下の緑地面積が少ない上に劣化して行っている現状、自然林の保全の重要性、保全活動には市民と行政の連係が重要であるとの話し合いがされた。市民と行政の協働の第1歩となった。

#### 2. 第2回「大阪府における地球温暖化対策を考える」

9月25日開催

大阪府では、家庭、業務部門でのCO2排出量が増加している。その対策として大阪府温暖化対策防止条例を基に府民、中小企業、商業施設などでの具体の対策をしていくためにも、先進都市の事例に学び導入するなど、府民協働での対策が必要であるとの共通認識となった。

#### 3. 第3回「公共交通の利用促進へ行政・府民・事業者の連携」

2月6日開催

政府が提唱する「新しい公共」以前に始まった大阪府内での取り組み成果と今後の課題、OPENの役割を伝えた。さらに商業施設への連携で大阪の魅力路線バスを通じて発信していこうとする全国的にも珍しい取り組みの広がりを伝えた。

#### 4. 第4回 OPEN 環境学習会「どう進める？環境教育」

3月5日開催

大阪府下市町村の環境教育の実施状況の基礎的調査を実施し、大阪府下での環境教育推進については地域差があるとの情報共有がなされた。府の施策について意見交換を行った。

【時期】6月～2011年3月

【事業規模】2万円

第2回 OPEN 環境学習会 **OPEN**

大阪府における地球温暖化対策を考える

大阪府下における環境保全の推進を目的とし、現状を学び今後のあり方について議論するための学習会を開催します。  
今回は地球温暖化問題で一番大きな問題のひとつである「地球温暖化」をテーマに、学びたいと思います。  
大阪府における地球温暖化の現状とそれ対策について協議し、大阪府下の地球温暖化防止対策について議論したいと思っております。ぜひともご参加ください。

9月25日(土)13:30～16:30  
大阪府環境情報プラザ・研修室

<プログラム>  
大阪府における地球温暖化対策に関する情報提供  
大阪府地球環境課 温暖化対策グループ 横田 学 さん  
地球温暖化問題と地方自治体～大阪府の地球温暖化防止対策を考える  
NPO 法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議 事務局 早川 光雄 さん  
質疑応答・意見交換

定員：30名  
資料代：OPEN 会員(加盟団体メンバー含む)は無料、一般参加は500円  
申込み方法：●下記メールアドレスまで11月1日(日)まで、(団体名・企業名)の住所(2回電話等)の参加人数を明記の上、9月24日(金)17時までにお願いします。  
●申し込み要領書(別紙)を添付ください。  
●メールアドレスをお知らせください場合は、後編の参加申込書にご記入の上、FAXでも9月24日(金)17時(締め切り)までに下記申込先までお申し込みください。  
主催・問合せ・申込み先  
環境非営利活動法人 大阪府環境機会会議 (OPEN)  
〒535-0012 大阪府東淀川区東1-4-10 サンシティ・ストリート  
TEL & FAX: 06-7533-7978  
E-Mail: ocf@open.or.jp Web: http://www.open.or.jp/

## OPENが加盟する団体 (加盟順)

### 1. なにわエコ会議

大阪市が創設。環境 NPO/NGO の立場としての委員構成団体。

平成 22 年 7 月 2 日 委員総会への参画

平成 22 年 12 月 12 日 地球温暖化パートナーシップフェアへの参画

### 2. かけはし

世話人として参画。

エコフェスタ in Expo Park に出展

世話人会への出席

### 3. 自然エネルギー市民の会

### 4. MAKE the RULE キャンペーン

地域団体として参画 (2011 年 3 月 31 日で活動終了)

### 5. 温暖化防止ネットワーク関西 (旧名: COP15 ネットワーク関西)

関西における地球温暖化防止活動のネットワーク。世話人として参画。

10 月 30 日 シンポジウム「COP16 に向けて」

2011 年 2 月 5 日 シンポジウム「COP17 (ダーバン) に向けて」

世話人会に出席

## 総会の開催状況

第7回通常総会開催 6月26日 / 大阪府環境情報プラザ・研修室

## 理事会・常任理事会の開催状況

### < 理事会の開催 >

第1回理事会 7月5日 / 全大阪消費者団体連絡会・会議室  
第2回理事会 8月24日 / 全大阪消費者団体連絡会・会議室  
第3回理事会 11月1日 / 大阪府環境情報プラザ・小会議室  
第4回理事会 12月7日 / 大阪府環境情報プラザ・小会議室  
第5回理事会 2011年3月24日 / 全大阪消費者団体連絡会・会議室

---

第6回理事会 2011年4月18日 / 全大阪消費者団体連絡会・会議室  
第7回理事会 2011年5月17日 / 全大阪消費者団体連絡会・会議室

### < 常任理事会・ビジョン会議の開催 >

第1回常任理事会 2010年8月11日 / 事務局  
第2回常任理事会・ビジョン会議 9月24日 / 大阪府環境情報プラザ・小会議室  
第3回常任理事会・ビジョン会議 12月3日 / きんき環境館  
第4回常任理事会・ビジョン会議 2011年3月1日 / 全大阪消費者団体連絡会・会議室  
第5回常任理事会 2011年3月28日 / きんき環境館

### < 会員状況 >

正会員	団体	21
正会員	個人	12
賛助会員	団体	1
賛助会員	個人	7

2011年4月1日現在